

第2回 十和田地域広域事務組合 ごみ有料化等検討委員会会議概要

日 時 平成20年 7月30日(水) 午後1時30分～午後4時15分

場 所 十和田ごみ焼却施設 2階 会議室

出席委員	上野俊治	中橋勇一
	相内一輝	松橋均
	種市輝夫	小橋林光男
	漆館美香	伊沢花義隆
	富田義輝	立花広美夫
	鹿島千恵子	柴山英夫
	石川隆一	酒井正操
	高村郁子	竹内隆男
	遠藤健治	

事務局職員 鈴木事務局長、加賀澤業務課長、竹内課長補佐、佐々木課長補佐
盛田主任主査、沢口主査

[開 会]

[会長]

時間がまいりましたので始めさせていただきます。前回、検討委員会の公開について、事務局の説明のとおり傍聴可能で議事録及び関係資料は、ホームページ等で公開となりますのでよろしくお願いしたいと思います。本日の検討委員会は、お手元の次第のとおり、施設を見学いたしまして、現状のごみ処理の実態をご覧いただきます。続いて、第1回検討委員会の概要を確認の上、事務局からリサイクルの状況を報告していただき、現状認識を深めていきたいと思っております。その後、議事について検討することといたします。なお、本日の会議は、午後4時ごろをめぐり終了していきたく思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○次 第

- (1) 十和田ごみ焼却施設・十和田粗大ごみ処理施設見学
- (2) 第1回ごみ有料化等検討委員会の確認
- (3) 議 事
 - ①ごみ処理の課題とその対応策について(ワークショップ)
 - ②その他

1. 十和田ごみ焼却施設・粗大ごみ処理施設見学

[会長]

それでは、最初に施設見学をいたしますが、その前に事務局から説明をお願いします。

○事務局、「施設概要」説明（ビデオ視聴、施設見学）

2. 第1回ごみ有料化等検討委員会の確認

[会長]

それでは、検討委員会を再開します。施設見学をしていただきまして、感想や質問がある方もおいでかとおもいますが、会議を進めることとさせていただきます。

[会長]

それでは、次第に入ります。前回の第1回検討委員会の概要確認について、報告等含め事務局から説明をお願いします。

○事務局、資料により「第1回ごみ有料化等検討委員会会議概要」説明

○事務局、資料により「資源化（リサイクル）の状況」「資源ごみのプラスチック製容器包装分別の現状」説明

[会長]

ただいまの事務局の説明について、質問等ございましたらお願いします。

[委員]

一番最後の品質改善についてですが、構成市町村において、広報等の媒体により住民に対し、分別排出の徹底を図るよう依頼しているとありますが、実際には伝わらないと思います。色々な回覧等ありますが読まないです。特に大学生は、写真とか関心があること以外は、ちらっと見るだけです。何らかの方法で顔を向き合わせて、お願い・説明する方向に持っていけないといけないと思います。ただ、周知しましたといっても効果はないと思います。あるのだったら、もっとまめになって、効果が出てくると思います。組合で全力投球して、もっと効果をあげたいと思うならば、今後、住民に対しての周知についても考えていかなければならないと思います。

[事務局]

住民の周知につきましては、日頃、構成市町村にお願いしている事項でございます。

[委員]

前段でも、質問したところですが、ここまでは組合の仕事、ここまでは構成市町村というのは分かりますが、その関連・方向性を説明して欲しい。事務の分担で分かれているから関係ないと言っているように私はとらえます。鎌倉市のリサイクル率が良いと資料に載せていますが、やっぱり色々なことで住民と自治体が連携がとれているからだと思います。

[事務局]

組合のホームページ等でも掲載されていますけど、市町村と連携を取りながらやっていきたいと思えます。

[委員]

先程も施設を見学して、紙資源が可燃ごみに混入しているのを見て、大変さが分かりました。資源ごみの分別のやり方・指導等検討願います。

[事務局]

委員がおっしゃってることも、ごもっともだと思います。ただ、一朝一夕で中々うまくいかないものですが、粘り強く市町村の担当と一緒に、色々手法を取り入れていきたいと思えます。

[会長]

今のごみの出し方を住民に指導するという対応もありますが、逆に、いくつかの自治体では、資源ごみを分別しないで焼却するという対応をしていますが、考えたりしないのですか。

[事務局]

容器包装リサイクル法では、市町村で出来るものということで計画を立てています。弘前市につきましては、その他のプラスチックが、あまりにも汚れがひどかったり、選別に経費が掛かるために、今年度から燃えるごみとして焼却しています。ただし、弘前市については、エネルギー回収が出来ます。焼却することによって電気等に変えていますので、その部分がリサイクルに表れてきます。ただし、組合の場合については焼却しても、エネルギー回収出来ないシステムですので、ただ単純に焼却するという事は、リサイクル率も上昇しないで、燃えるごみが増えます。増えることによって、埋立地に埋立する焼却灰の量も増えますので、出来るだけ経費をかけないで住民の方に、分別排出の徹底をして、リサイクルをしていただきたいということでもあります。

[会長]

他に何かございませんか。

[委員]

住民の方に、今の現状を知らせたほうがいいと思います。先程見学した時、粗大施設の爆発修理に300万ほどかかったと聞きましたが、こんな出し方をすればこうなるということを経験していただくために、事務組合として、各戸に配布・広報するほうが効果があると思います。

[事務局]

スプレー缶等に穴を開けて排出しなければならないということは、住民に浸透していると思いますが、ごく一部の人の中にまだいるのかなあとと思います。そういう人達に浸透させるということは、色々悩むことですが、先程も言いましたが、粘り強く問いかけて、PR等をしていかなきゃならないと思います。

[会長]

他に何かございませんか。（なし）

3. 議 事

①その他

[会長]

それでは次に進めさせていただきます。議事に入りますが会議の進行上、先に議題（2）のその他の案件にいきたいと思います。

[会長]

議題（2）の、その他について事務局から説明があります。

○事務局、資料により「ごみ有料化等検討委員会先進地視察」「次回検討委員会のスケジュール案について」説明

[会長]

それでは、ただいまのスケジュール案についていかがでしょうか。次回、検討委員会の開催は、9月30日、この会場で宜しいでしょうか。（異議なし）

[会長]

それでは、9月30日、火曜日、午後1時30分から第3回検討委員会を開催させていただきます。

②ごみ処理の課題とその対応策について（ワークショップ）

[会長]

それでは議題（１）の、ごみ処理の課題整理とその対応策について、事務局から説明があります。

[事務局]

これから、小グループに分け、ワークショップという手法を取り入れ課題に取り組んでいただきますが、ワークショップを進めるに当たり、委員の皆様には、資料に目を通していただくことなど事前に準備をお願いいたしました。事務局職員も、周りで見ているのではなく、出来れば一緒にテーブルに座って、委員の皆様と共に考える協働スタイルで進めてまいりたいと考えております。

[会長]

ただいま、事務局から協働スタイルとのご提案がありましたが、ごみ処理基本計画の基本方針でも、住民・事業者・構成市町村・組合がそれぞれ役割分担のもと連携をとって循環型社会の構築を目指すとしていますので、ぜひそうしていただきたいと思っております。

[会長]

それでは、ワークショップを開催いたしますが、ここでワークショップの進行を自ら実践されております中橋副会長にお願いしたいと思います。

[副会長]

了解しました。

○以下、副会長の進行により討議

○副会長、資料により「なぜなにロジックモデル」説明

○グループ分け「誕生日により学期ごと」（３班）

○ワークショップの状況

ワークショップでは、「この委員会で私が発言したいこと、大切だと思うこと」として、下記の点についての考えを自由に意見交換しました。

- （１）何を目指し、どんな成果を出せたら良いと思っているか。
- （２）どういう取組や活動を進めたら良いと思っているか。
- （３）そのために、私たち住民や行政はどのような役割を果たしたら良いか。

[副会長]

それでは、時間となりましたので、本日のワークショップは終了いたします。会議の進行を会長にお返しします。

[会長]

中橋副会長、どうもありがとうございました。最後に事務局から何かございますか。

[事務局]

本日は、長時間にわたりましてご議論いただきありがとうございました。次回の検討委員会のご案内は、郵送にてご案内させていただきます。先進地視察の詳細につきましては、後日送付させていただきます日程表でご確認いただき、質問等ございましたら電話でお願いいたします。また、事務局からも確認の電話をさせていただく場合がございますのでよろしくお願い申し上げます。以上です。

[閉 会]

[会長]

それでは、これもちまして、本日の検討委員会を閉会させていただきます。お忙しいところありがとうございました。（ご苦労様でした）